

市政報告

令和8年3月定例会

若者の皆さまへ

AI・カルチャー・街の未来

三郷市議会議員

鈴木優作

令和8年3月

本資料は三郷市議会議員 鈴木優作が独自に作成した資料であり、三郷市の公式発表ではありません。
掲載内容は令和 8 年 3 月定例会の施政方針および一般質問に基づいています。

三郷市の令和 8 年度予算は 617 億 5,000 万円。市税収入は約 247 億円（前年度比+6.6%）と過去最高水準で、まちづくりの成果が税収に表れています。AI 活用の推進、ロケ支援の強化、駅前再整備。令和 8 年度の主な動きをまとめました。

3 月定例会のポイント

市の新事業 三郷市の施政方針に基づく事業

鈴木の一般質問 鈴木優作が議会で取り上げた内容

市の新事業

「選ばれるロケ地、三郷」ー ロケ支援の実績を発信

ロケーション支援を強化し、三郷市で撮影されたドラマ・映画の作品成果を広く発信します。市内で実施されたロケ支援実績をまとめて情報発信することで、街の認知度向上と来街者増加を図ります。陸上競技場のメタルハライドランプを LED 照明に更新するなど、スポーツ施設の環境整備も進行中です。

施政方針

市の新事業

三郷中央駅前の再整備 ー 4 億 800 万円を計上

TX 三郷中央駅前広場の再整備に 4 億 800 万円を計上。路線南側の駅前広場改修、シェルター設置、周辺区域の歩道の高質化に係る詳細設計を実施します。都市計画道路草加三郷線の整備事業認可も取得し、三郷南インターチェンジ等の交通利便性を活かした各拠点へのアクセス向上を図ります。

施政方針

市の新事業

ねんりんピック&陸上競技場 LED 化 ー スポーツ環境の進化

全国規模のスポーツチャンバラ交流大会が三郷市総合体育館で開催。陸上競技場のメタルハライドランプを LED 照明に切り替え、夜間のスポーツ環境が大幅に向上します。明るく省エネな照明で、ナイター練習や夜間イベントの可能性が広がります。スポーツ好きの若者にとって、地元の競技環境が良くなるのは大きなメリットです。

施政方針

鈴木優作の一般質問

以下は令和 8 年 3 月定例会で鈴木優作が市に対して要望・提案した内容です。決定事項ではなく、実現に向けて引き続き働きかけてまいります。

■ 三郷市 LINE 公式アカウントに登録しませんか？

鈴木が議会で要望している内容の多くは、LINE 公式アカウントの活用に関わるものです。まずは友だち追加して、三郷市の最新情報を受け取ってください。巻末の QR コードから登録できます。

📄 一般質問の詳細はこちら → yusaku-suzuki.com/council-qa-202603

鈴木の一般質問

AI 活用の最前線 — 議場でリアルタイム議事録を実際に運用

一般質問で AI 活用を取り上げ、行政データを AI で分析して政策立案の精度を高める体制づくりを提案しました。職員の DX リテラシー教育の充実、セキュリティ体制の見直し、近隣自治体との広域連携によるコスト削減など、AI を活かすための基盤整備を多角的に提案。市のデジタル化推進事業では、AI-OCR・音声テキスト化・文章要約・窓口自動翻訳などの導入が進んでおり、三郷市は実はテクノロジーの面で着実に前進しています。

一般質問

鈴木の一般質問

ゼロトラストへの移行 — 2029 年を見据えた提案

一般質問で、行政ネットワークのセキュリティ体制の見直しを提案しました。現在の「三層分離」方式はセキュリティを強化した一方で、クラウドや AI の活用に制約が生じています。国がセキュリティモデルの転換を進める中、三郷市も次世代のセキュリティ基盤への移行準備を今から始めるべきだと提案。国が動いた瞬間にスタートダッシュを切れる準備力が、自治体間の差になります。

一般質問

鈴木の一般質問

広域連携でシステムコスト削減 — スマートな税金の使い方

一般質問で、三郷市単独ではなく近隣自治体や埼玉県とシステムを共有化する広域連携によるコスト削減を提案しました。一つの自治体で開発するよりも、共同で開発・運用すれば一人あたりのコストが大幅に下がります。デジタル化推進事業では、AI-OCR・音声テキスト化・文章要約・窓口自動翻訳などの導入が進んでおり、広域連携でさらに効率化できる余地があります。「税金を賢く使う」という意味で、若い世代にとっても重要なテーマです。

一般質問

鈴木の一般質問

自主防災組織の連携 — 若い世代の参加で地域防災力を底上げ

一般質問で自主防災組織の連携を取り上げ、若い世代の参加拡大を要望しました。三郷市が 30 年以上独自に実施してきた指導者養成講座では、救護・AED・救助訓練など実践的なスキルが無料で学べ、これまでに約 800 人のリーダーを輩出しています。このスキルは災害時だけでなく日常の怪我への対応にも直結するため、「家族を守るスキルが無料で学べる」と打ち出し、若い世代の参加を促すよう要望しました。また、災害時の組織間連絡にデジタルツールを活用する体制構築も提案しています。

一般質問

鈴木の一般質問

LINE 公式アカウント — スマホ一つで「役所を手のひらに」

一般質問で LINE 公式アカウントの活用拡大を提案。4 月からメール配信サービスが終了し、LINE への情報一元化が進みます。トーク画面から市のホームページ、イベント検索、施設マップ、電子申請サービスにアクセスでき、居住地域に応じたセグメント配信も検討中です。1 年 3 ヶ月で 4,500 人が登録し、直近半年で 1,000 人増。「スマホ一つで役所と 24 時間つながる」ビジョンを示しました。

一般質問

鈴木優作より

AI 活用の推進、セキュリティ基盤の見直し、ロケ支援の強化、駅前の 4 億円超の再整備、LINE 一つで行政情報にアクセスできる環境づくり。令和 8 年度は具体的な動きが多い年です。一般質問では行政のデジタル化と防災体制の強化を取り上げました。あなたの声を議会に届けます。

LINE で友だち追加してください

<p style="text-align: center;">三郷市</p> <p style="text-align: center;">LINE 公式アカウント</p>  <p style="text-align: center;">三郷市公式の情報配信</p>	<p style="text-align: center;">三郷市最新ニュース</p> <p style="text-align: center;">from 鈴木優作</p>  <p style="text-align: center;">防災・イベント・行政情報</p>	<p style="text-align: center;">鈴木優作</p> <p style="text-align: center;">LINE 公式アカウント</p>  <p style="text-align: center;">市政相談・ご意見ご要望</p>
---	--	---

 一般質問の詳細 → yusaku-suzuki.com/council-qa-202603

QRコードをスマホのカメラで読み取るだけで友だち追加できます